

e-Learning Conference 2007 Winter 特別セミナー

- ICT時代の人材育成に貢献するeラーニングプロフェッショナル(eLP)資格制度 -

青山学院大学 eラーニング専門家資格

玉木欽也・合田美子・権藤俊彦

青山学院大学総合研究所

eラーニング人材育成研究センター(eLPCO)

青山学院大学総合研究所 eラーニング人材育成研究センター制作

目次

- eラーニング専門家育成プログラム
 - 2007年度実施報告

- eLPCO総合試験と認定証

- 日本イーラーニングコンソシアム(eLC)
 - eラーニングプロフェッショナル資格との相互認定

- 来年度の活動予定
 - 公開講座→研修開催
 - ラーニングのプロを養成する大学院

eラーニング専門家育成プログラムの仕組み

- eLPCOが資格を認定するeラーニング専門家
 - インストラクショナルデザイナー
 - コンテンツスペシャリスト
 - ラーニングシステムプロデューサー
 - インストラクタ
 - メンタ
- eラーニング専門家資格の認定を受けるまで
 - 修得科目：各コース9科目
 - 必修：5～6科目、選択必修：1～2科目、選択：1科目
 - 専門家総合試験
 - 選択問題と記述問題

5職種のエラーニング専門家の人材像

専門職名	人材像
インストラクショナルデザイナー	IDを用いて、ニーズ調査などの分析に基づき、eラーニングコースを設計、評価する専門家
コンテンツスペシャリスト	インストラクショナルデザイナーによるeラーニングコース設計を反映し、適用すべきメディアの特徴を踏まえた教材を制作する専門家
インストラクタ	先端技術を駆使し、教育効果・効率・魅力を最大限にする教授活動をおこなったり、学習評価を行う専門家。
メンタ	学習者に対する質疑応答や情意面からの学習支援を行い、主体的な学習に対する動機付けを中心に行う専門家
ラーニングシステムプロデューサ	ラーニングシステム全般の運営や、eラーニングコースの円滑な実施のためのインストラクタ・メンタの支援を行う専門家。さらに新たなeラーニングシステムの導入の際には、その設計等に積極的に関与する。

eラーニング専門家育成プログラムの仕組み

■カリキュラム

● 5コース全26科目

- 入門講義科目 3科目
- 基礎講義科目 8科目
- 専門講義科目 5科目
- 専門演習科目 6科目
- 大学院科目 4科目

● 学際的なプログラム

	インストラクショナルデザイナー	コンテンツスペシャリスト	インストラクタ	メンタ	ラーニングシステムプロデューサ
1 入門講義科目	●	●	●	●	●
2 入門講義科目	●	●	●	●	●
3 入門講義科目	●	●	●	●	●
4 基礎講義科目	●	●	●	●	●
5 基礎講義科目	●	●	●	●	●
6 基礎講義科目	●	●	●	●	●
7 基礎講義科目	●	●	●	●	●
8 基礎講義科目	●	●	●	●	●
9 専門講義科目	●	●	●	●	●
10 専門講義科目	●	●	●	●	●
11 専門講義科目	●	●	●	●	●
12 専門演習科目	●	●	●	●	●
13 専門演習科目	●	●	●	●	●
14 専門演習科目	●	●	●	●	●
15 大学院科目	●	●	●	●	●
16 大学院科目	●	●	●	●	●
17 大学院科目	●	●	●	●	●
18 大学院科目	●	●	●	●	●
19 6科目配置予定	●	●	●	●	●
20	●	●	●	●	●
21	●	●	●	●	●
22	●	●	●	●	●
23	●	●	●	●	●
24 4科目配置予定	●	●	●	●	●
25	●	●	●	●	●
26	●	●	●	●	●
認定試験受験資格要件	必修:6 選必:2 選択:1	必修:6 選必:2 選択:1	必修:6 選必:2 選択:1	必修:5 選必:3 選択:1	必修:6 選必:2 選択:1

凡例

必修科目

選択必修科目

選択科目

eラーニング専門家育成プログラムの仕組み

■ 科目開講方法と受講の仕組み

- プログラムを構成する正規授業と同内容のeラーニングコース(eLPCO科目と呼ぶ)を開講し、どちらでも受講可能とする

科目種別	単位	資格*	受講条件	授業形態
正規科目	○	○	通常の履修条件	対面／ブレンド
eLPCO科目	×	○	無条件	SRLのみ

※資格...「専門家総合試験」の受験要件である科目完了証が授与されること

プログラム参加者数(時期別)

■ 受講者は前期に集中

- 年間の履修申請を前期に行うため
- 4月の履修申請時期に広報の焦点

■ 試し受講者が多数

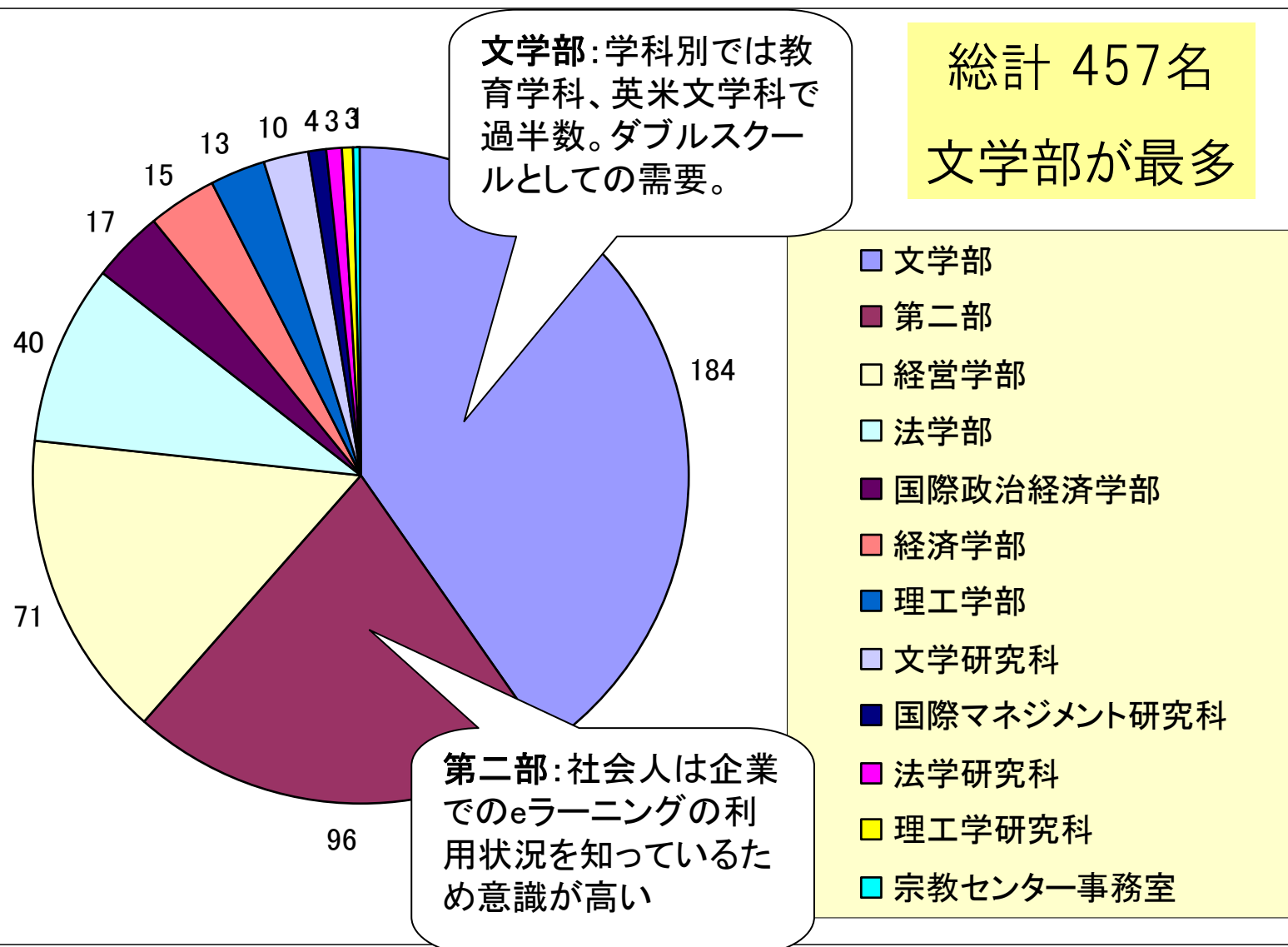
- 受講開始前にコンテンツを試聴してから本登録
- 受講開始後1回もアクセスしない受講者数は減少

プログラム参加者		人数
2006年	前期	172
	後期	9
2007年	前期	115(255)
	後期	21
総計		317(457)

()内は仮登録者(試し受講者)を含めた数

プログラム参加者数(学部別)

総計 457名
文学部が最多



文学部: 学科別では教育学科、英米文学科で過半数。ダブルスクールとしての需要。

第二部: 社会人は企業でのeラーニングの利用状況を知っているため意識が高い

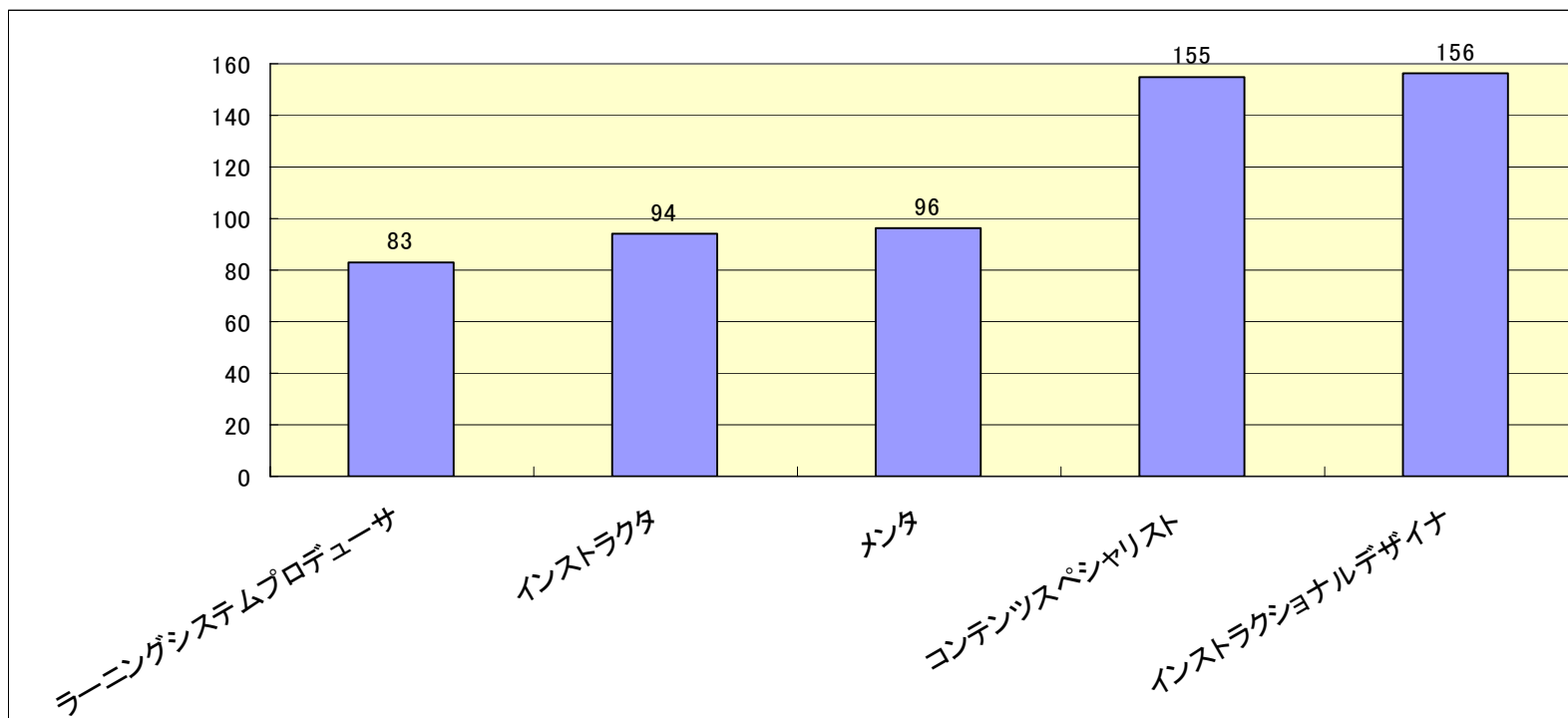
プログラム参加者数(専門家コース別)

■ インストラクショナルデザイナーが最多

- 昨年度参加者ではコンテンツスペシャリストが最多
- インストラクショナルデザインの重要性が浸透

■ ラーニングシステムプロデューサーが最少

- 文系学生が多数のため
- 重要性の浸透が不十分
- 企業ニーズとの隔たり



科目開講状況

■ 正規、eLPCO合わせて通算**87科目**を開講

		正規科目	eLPCO科目
2006年度	前期	3	4
	後期	6	12
2007年度	前期	11	19
	後期	8	24
合計		28	59

・担当教員：専任教員**4学部**(文・経済・経営・国際政経)、他大学教員(非常勤講師)、客員研究員合わせて**23名**

・開講学部：**5学部**(文・経済・経営・法・国政経)

総合試験概要1

■ 目的

eラーニング専門家認定証を発行するにあたり、受講者の知識とスキルの両方が基準に達しているかを検討するため

■ eラーニング専門家総合試験実施時期

- 平成19年10月より、eラーニング専門家総合試験を開始
- 年2回(10月と2月)実施

総合試験概要2

■ eラーニング専門家総合試験形態

- 40題の選択問題(60分): 専門職に関する知識
- 2題の自由記述問題(60分): 専門職に必要なスキルの習得度

■ eラーニング専門家総合試験受験資格

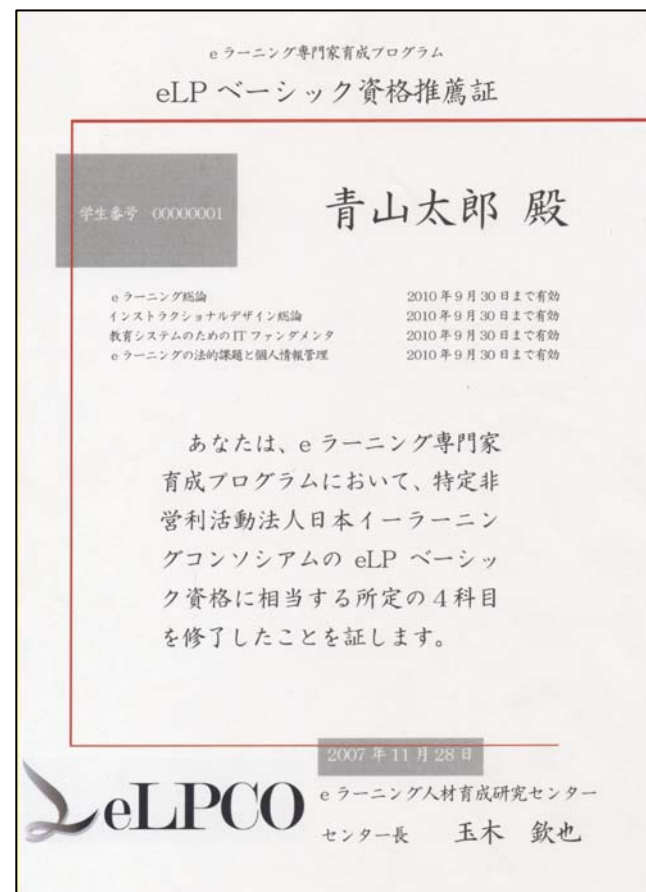
- 各eラーニング専門家総合試験受験資格を満たしていること(総合試験許可証を取得し、有効年以内)

第1回総合試験実施結果

■ 10月21日、28日に実施

総合試験受験者		IDer	CS	LSP	Ins	Men	計
2007年	第1回	3	3	1	1	2	10
	第2回(予定)	14	16	11	10	15	66
総計		17	19	12	11	17	76

eLPCO 資格の認定証



e-Learning Conference 2007 Winter 特別セミナー

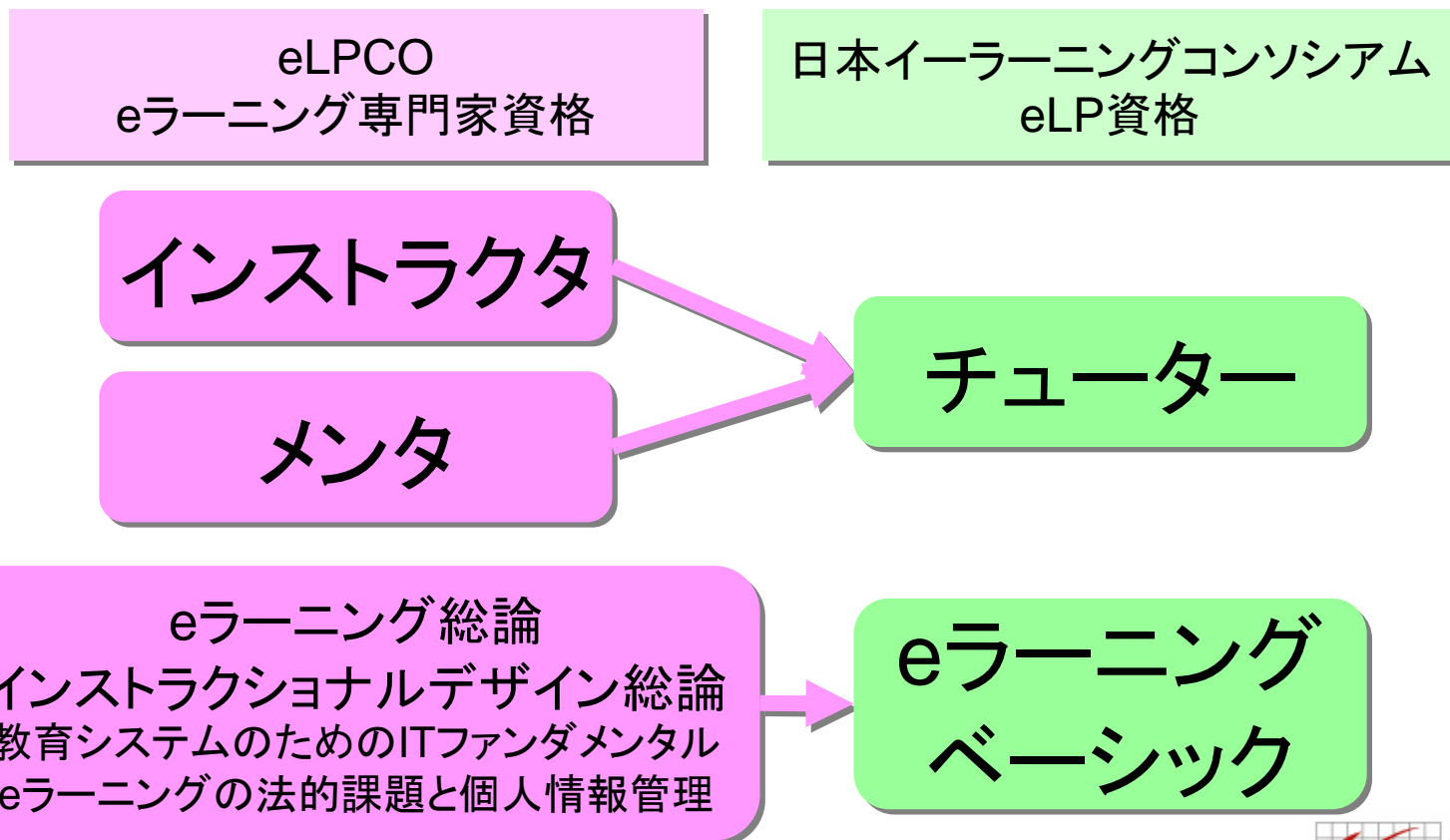
- ICT時代の人材育成に貢献するeラーニングプロフェッショナル(eLP)資格制度 -

青山学院大学の科目と eLCの資格との 相互認定の関係

青山学院大学総合研究所 eラーニング人材育成研究センター制作

eLC eラーニングプロフェッショナル資格

■ 第1弾として、次の資格を相互認定開始



eLC eラーニングプロフェッショナル資格

■ その他の相互認定を検討中の専門家

eLPCO
eラーニング専門家資格

日本イーラーニングコンソシアム
eLP資格

インストラクショナル
デザイナー

ラーニングデザイナー

ラーニングシステム
プロデューサー

マネージャ and/or
エキスパート

eLP資格申請可能者数

eLPベーシック		人数
2007年	前期	37
	後期(予定)	35
総計		72

eLPチューター		人数
2007年	前期	2
	後期(予定)	25
総計		28

eLCのコンピテンシーマップ（ベーシック）と 共通必修4科目（一部抜粋）

レベル	コンピテンシー	管理番号	eラーニング総論	インストラクショナルデザイン総論	教育システムのためのコフアンダメンタル	eラーニングの法的課題と個人情報管理	コース実施と学習支援演習
CM	共通コンピテンシー						
1	企業内教育の基本						
	1 情報化社会の企業内教育の基本を説明できる。	CM-1-1	○				
2	インストラクショナル・デザインの基本						
	1 インストラクショナル・デザインの基本的考え方が説明できる。	CM-2-1	○	○			
	2 インストラクショナル・デザインの基本的プロセスと評価法を説明できる。	CM-2-2		○			
3	eラーニングの性質および範囲						
	1 eラーニングとは何かを説明できる。	CM-3-1	○				
	2 eラーニングの起源とメディア教育の歴史と特徴を説明できる。	CM-3-2	○				
	3 eラーニングが使用されるべき場所および採用すべきケースを説明できる。	CM-3-3	○				
	4 LMSとは何か、またその必要性について説明できる。	CM-3-4	○		○		
	5 SCORMとは何か、またその必要性について説明できる。	CM-3-5	○				
	6 コンテンツとコンテキストという概念について説明できる。	CM-3-6		○			

コース紹介（シラバス講義概要より）

■eラーニング総論

教育にeラーニングを取り入れる意義から、eラーニングの特徴的な授業形態、eラーニングを行う人材やビジネスについて、eラーニングの全体像を俯瞰する形で体系的に学習します。

■インストラクショナルデザイン総論

本講義では、eラーニングにおけるIDについて、その必要性やインストラクショナルデザインプロセスについて学習する。

コース紹介（シラバス講義概要より）

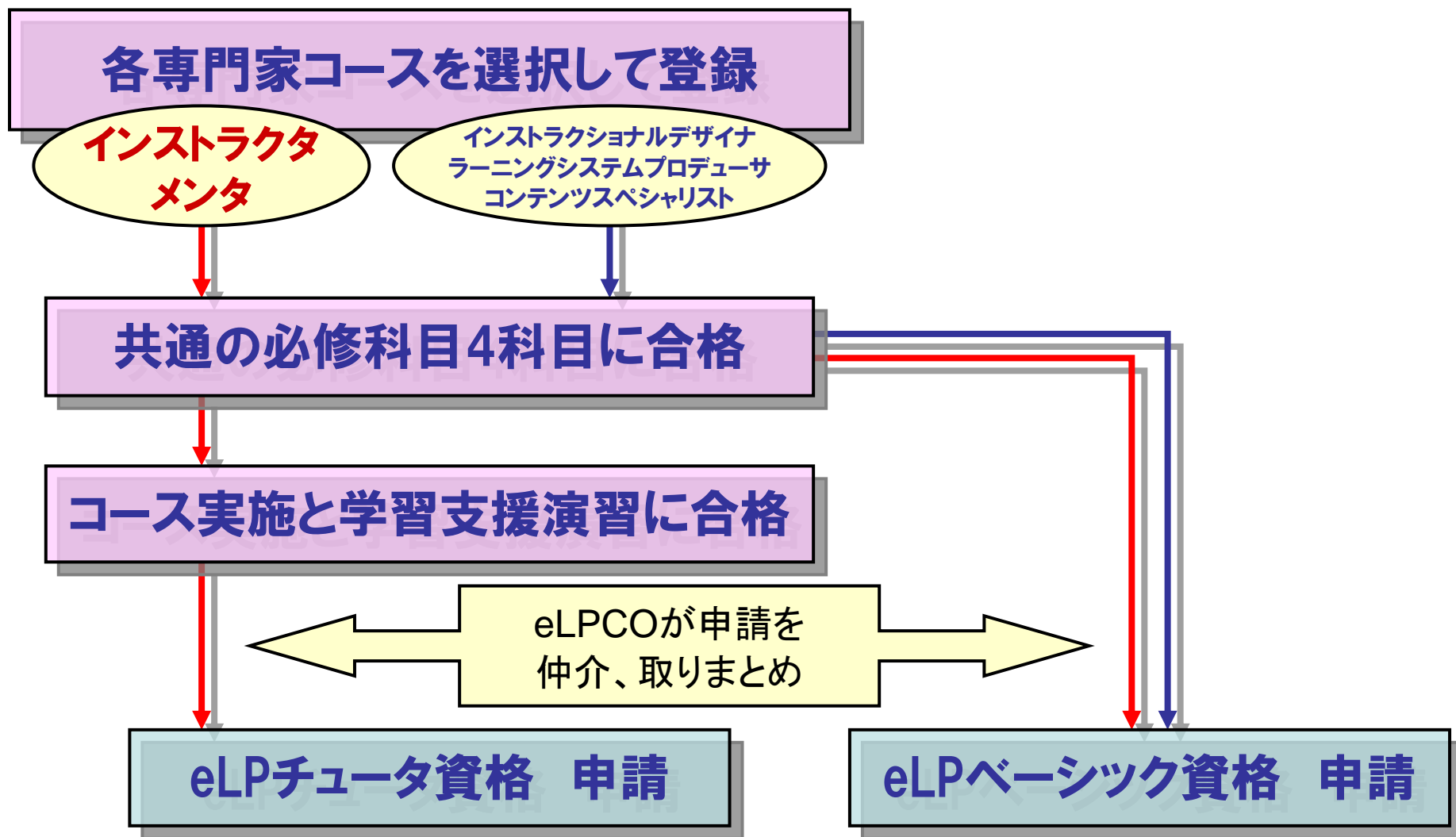
■ 教育システムのためのITファンダメンタル

eラーニングを含むITを活用した授業の開発・実施を行うために、最低限必要なITに関する知識・スキルについて学習する。

■ eラーニングの法的課題と個人情報管理

講義の目的は、eラーニングを実施するために最低限必要とされる法律の知識を身につけ、法律面で問題のないeラーニングプロジェクトを遂行できるようになることである。

eLP資格申請までの流れ



今後の予定：資格の価値の強化

- 外部資格との相互認定の仕組みづくり
 - 日本イーラーニングコンソシアム (eLC)
 - eLPベーシック、eLPチューター以外の資格
 - 国際的な人材育成 (世界に通用する専門家育成)
 - 国際協働プロジェクト
- 公開講座 (2006～2007) → 研修開催予定
 - eLPベーシックレベルの研修
 - 専門家育成の研修
- より高レベルの教育専門家育成へ
(玉木センター長)

ご清聴ありがとうございました

■ 連絡先

■ 玉木 欽也

- ytamaki@a2en.aoyama.ac.jp

■ 合田 美子

- yoshiko.goda@a2en.aoyama.ac.jp

